

かみすげたささのおか

令和5年6月30日
上菅田笹の丘小学校
学校だより 7月号



上菅田笹の丘小学校 学校教育目標
自分大好き 仲間大好き
心かがやく上菅田笹の丘小学校



豊かな表現力

校長 世古 正樹

「あっ、サワディー!!」「おっ、サワディー!!」

休み時間、校長室の前の廊下から、子どもたちのこんな声が聞こえてきました。「サワディー」とは、タイ語の挨拶の言葉で、今年の国際理解教室で授業をしてくださっているタイのクガ ルジダー先生から学んだ言葉です。子どもたちは授業で、「サワディーは、こんにちはだけでなく、おはようやこんばんはの意味もある。」と学んでいます。授業で習った言葉を、さっそく休み時間に友達同士で使っていたようで、微笑ましく思いました。他にもタイの学校や生活の様子などを教えてもらっています。ぜひお子さんにタイの様子を聞いてみてください。

6月22日(木)に保土ヶ谷公会堂で「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト保土ヶ谷区予選会」が行われました。これは区内の各小学校の代表1名が、「国際平和のために自分ができること」というテーマに沿って3分以内のスピーチを行い区の代表を決めるもので、本校からは学校代表としてアブドラジゾヴ・オイベックさんが「全ての命が守れるエネルギーを届けるために」という題名で出場しました。主な内容は、次の通りです。

『自分が思う平和は、全ての人が安全でクリーンなエネルギーを使えること。でも、日本ではそれが当たり前でも、世界では深夜に電気が止まってしまったり、テレビを見ていて他の部屋の電気をつけるとブレーカーが落ちてしまったりする国もある。もっとエネルギーの勉強をして、将来は全ての人に安全でクリーンなエネルギーを届ける人になりたい。』

スピーチの内容も、表現力も素晴らしく、話し方だけでなく表情や目力、身振り手振りでも聞いている人たちを大いに惹きつけ、見事に区の最優秀賞を受賞しました。

オイベックさんは区の代表として、7月25日(火)の横浜市本選会に出場する予定です。

学校代表として出場したのはオイベックさんですが、このスピーチコンテストに向けて、6年生全員が原稿を作成し、各クラスでスピーチを行いました。私はクラス代表による校内選考会を参観しましたが、他の児童のスピーチも素晴らしく、その表現力にとっても感心しました。本校の今年度の学校経営方針の一つが「自分の考えを伝え合う力を育て、自分の課題解決の方法を定めることができるようにする。」です。6年生だけでなく、どの学年も発達段階に応じて自分の考えを伝え合う学習活動を進めています。全員に向けての発表だけでなく、ペアやグループなどいろいろな場面を設定して、表現力を高める学習活動を工夫しています。オイベックさんの最優秀賞受賞を糧とし、引き続き、子どもたちの「自分の考えを伝え合う力」の育成に取り組んでいきたいと思えます。



移転作業を行う冬季休業日を増やすため、今年の夏季休業期間は、他校よりも短く7月26日(水)～8月27日(日)までとなります。子どもたちがこの夏に事件や事故に巻き込まれることなく、たくさんの豊かな経験をして、8月28日に元気に登校してくることを心から願っています。保護者の皆様、地域の皆様、4月より学校の教育活動にご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。今後とも引き続きどうぞよろしくお願いいたします。